

広報

にしあいづ



笛と太鼓が鳴り響く

五穀豊穡と商売繁盛を願う、野沢の諏方・熊野両神社の祭礼が9月15日から17日の3日間にわたり行われました。

地元青年たちによって担がれた勇壮な御輿や山車が町内をくまなく練り歩きました。

また、今年結成20周年の記念の年を迎えた睦会の神輿は例年にも増して、気合の入った掛け声を上げていました。

主な内容

- 美しい農村を将来に引き継ごう！
中山間地域等直接支払制度..... P 2～3
- 第11回ふるさと・いきいき村づくり全国サミット
福島県西会津町大会開催！！..... P 4
- 10月1日から
国民健康保険と老人保健が変わりました... P 5
- みんなで元気に長生きを..... P 6
- 9月議会定例会報告..... P 7

Nishiaizu NO.576

2006 10月号
(平成18年)

編集と発行 福島県耶麻郡西会津町役場

☎ 0241 - 45 - 2211 (総務税政課)

<http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/>

美しい農村を将来に引き継ごう！

中山間地域等直接支払制度

この制度は、平坦地に比べ、傾斜地があるなど土地条件が不利な中山間地の適正な管理を通じて、将来に健全な農地を残し、水源涵養や洪水防止など、中山間地の「多面的機能」を維持していくことを目的に平成12年度からスタートした制度です。昨年より制度が一部改正され、新たに5年間（平成21年度まで）の協定が取り組まれています。

傾斜度や農地としてのまとまり等、一定の条件を満たす農地面積に応じて支払われる交付金を活用し、集落の実態や、将来の目標に合わせて様々な取り組みが行われています。

町では、各自治区長・農事連絡員の方々の説明会等により、制度の周知・協定締結の推進を図ってきたところ、今年度からの新たにスタートした協定はなかったものの、既存のいくつかの集落協定において、協定面積や協定参加人数が増加し、今まで以上に積極的な活動に取り組む集落が増えました。

協定認定集落名

- 野沢地区：西平・中野・大久保、四岐
- 尾野本地区：松尾、尾登、下小島、牛尾、出ヶ原、黒沢
- 群岡地区：下野尻、宝川、白坂、屋敷、熊沢
- 新郷地区：高目、小清水、漆窪、平明、原、新村、樟山、滑沢、柴崎、井谷・八重窪

年度ごとの取り組み状況

集落協定：40地域

	H17年度	H18年度
協定参加のべ人数	717人	760人
農用地面積	397.5ha	424.4ha
うち急傾斜地	216.3ha	235.2ha
緩傾斜地	181.2ha	189.2ha
交付金総額	5,441万円	5,809万円
平均交付額	136万円	145万円

個別協定：12名

	H17年度	H18年度
農用地面積	60.0ha	60.2ha
うち急傾斜地	4.6ha	4.8ha
緩傾斜地	55.4ha	55.4ha
交付金総額	513万円	518万円
平均交付額	43万円	43万円

集落・個別合計

	H17年度	H18年度
農用地面積	457.5ha	484.6ha
うち急傾斜地	220.9ha	240.0ha
緩傾斜地	236.6ha	244.6ha
交付金総額	5,954万円	6,327万円

奥川地区：杉山、向原、塩、下松、山浦、山浦、二又、出戸、中ノ沢、松峯、中町、小山、真ヶ沢、宮野、極入、飯根極入、小綱木

の開設

など

協定集落の取り組み内容

【基本的事項の取り組み集落】
(8割単価)

- ・耕作放棄地の発生防止
- ・水路や農道の泥上げ草刈り
- ・花などの植栽
- ・魚や昆虫など生き物の保護
- ・農業体験民泊グリーンツーリズム

【ステップアップ事項の取り組み集落】
(10割単価)

- ・集落官農の構築と充実
- ・担い手への農地や農作業の集積
- ・機械の共同利用の促進
- ・非農家との連携した取り組み
- ・認定農業者の育成 など

いずれの集落も10～15年後の集落の将来像を描き、その目標に向かって取り組みを進めています。



尾登集落での水路復旧作業

来年度からでも協定締結ができます

今年度は話し合いがまとまらず協定を締結できなかった集落でも、来年度以降から取り組むことができます。また、8割の取り組み内容で協定を締結している集落については、10割の取り組みへの変更も可能です。

町では、これからも新規協定の締結とステップアップ事項（10割単価）の取り組み推進を図っていきます。制度について詳しく知りたい「協定を結ぶためにはどうすればいいか」など不明な点があれば、集落に向いての説明会も随時実施しますので問い合わせください。

【問い合わせ先】

経済振興課農林振興係

☎ 45 4 5 3 1

交付金の対象となる農用地

農振農用地区域

（基盤整備地は全て該当します）

1ha以上の団地の農用地
であること

（小団地でも、水路や農道等で一体的に管理
されていれば、それらを合わせて一団地と
することもできます。）

急傾斜農用地か緩傾斜農用地
であること

【水田の場合】

急傾斜～1/20以上

20mで1mの高低差

緩傾斜～1/100以上1/20未満

20m～100mで1mの高低差

【畑の場合】

急傾斜～15度以上

緩傾斜～8度以上15度未満

集落協定 ～事例紹介～

平成12年度から集落協定に取り組んでいる、井谷・八重窪集落の取り組みを紹介します。



井谷・八重窪集落協定
代表 鈴木 圭介さん
（井谷）

井谷・八重窪の集落協定は、平成12年度の初年度から取り組みを開始し、平成17年度からは10割の取り組みを実施しています。

取り組みをスタートする前、2つの自治区が一緒にやるということもあってか、いろいろな場面でいろいろな意見が出て、話をまとめるのに一苦労でした。

しかし、いざスタートしてみると、意外にすんなりと水路や農道改修などの農地保全事業、集会所や自治区保有の米倉庫の修繕整備事業、集落内の花壇整備などの景観事業に取り組むことができました。

この制度は、今までは集落内で「困った。どうにかしたい。」と話だけで終わっていたことを、交付金ですぐ取りかかることができるので、非常によい制度だと思います。

また、私たちの集落協定が成功している要因は、2つの自治区で取り組むことで、規模的にもちょうどいい規模になったことと、2つの自治区の知恵・労力・人材が揃ったことだと思います。

どこの集落も同じだと思いますが、高齢化が進み、担い手不足は深刻な問題で、井谷と八重窪の2つの自治区で、お互いに助け合い、共同で集落営農をしていかなければ、田んぼは荒れていく一方です。

今はとにかく、この制度を利用し、2つの自治区のみんなで協力しあって、耕作放棄の田んぼを無くそうと努力しています。

集落協定における交付単価

10a当り単価

基本的事項の取り組み

（8割単価）

【水田の場合】

急傾斜～16,800円

緩傾斜～6,400円

【畑の場合】

急傾斜～9,200円

緩傾斜～2,800円

ステップアップ事項の取り組み

（10割単価）

【水田の場合】

急傾斜～21,000円

緩傾斜～8,000円

【畑の場合】

急傾斜～11,500円

緩傾斜～3,500円

10月1日から

国民健康保険と老人保健が変わりました

急速な少子高齢化の進展の中で、現在の保険制度を維持し、将来においても安心して医療が受けられるよう医療給付費の伸びと国民の負担との均衡を図るため、医療保険制度が改正され、10月1日から国民健康保険と老人保健の一部が変わりました。

70歳以上の方

高齢者の自己負担が変わりました

70歳以上又は老人保健対象者のうち、一般及び住民税非課税世帯の方は、今までと変更ありません。

現役並みの所得者に限り医療機関で支払う自己負担割合が引き上げられました。
これまで（現役並みの所得者） 10月から

2割



3割



医療費の自己負担限度額（月額）が変わりました

一般及び現役並み所得者に限り自己負担限度額（月額）が変わりました。
これまで

	外来（個人単位）	外来+入院（世帯単位）
一般	12,000円	40,200円
現役並み所得者	40,200円	72,300円+（医療費-361,500円）×1%（4回目以降40,200円）

10月から

	外来（個人単位）	外来+入院（世帯単位）
一般	12,000円	44,400円
現役並み所得者	44,400円	80,100円+（医療費-267,000円）×1%（4回目以降44,400円）

一般とは

住民税課税世帯で「現役並みの所得者」以外の方

現役並みの所得者とは

現役世代の平均収入以上（課税標準額が145万円以上）の所得がある方

（ただし、70歳以上の方及び老人保健で医療を受ける方の収入合計が、2人以上の場合は520万円未満、1人の場合は383万円未満であると申請により『一般』と同じ扱いとなります）

70歳未満の方

一般及び現役並み所得者に限り自己負担限度額（月額）が変わりました。

これまで

	3回目まで	4回目以降
一般	72,300円+（医療費-241,000円）×1%	40,200円
上位所得者	139,800円+（医療費-446,000円）×1%	77,700円

10月から

	3回目まで	4回目以降
一般	80,100円+（医療費-267,000円）×1%	44,400円
上位所得者	150,000円+（医療費-500,000円）×1%	83,400円

上位所得者とは

基礎控除後の所得が世帯の合計で600万円以上の世帯に属する方。

4回目以降とは

過去1年間に1つの世帯での支給が4回以上あった場合の4回目以降の限度額

出産育児一時金・

葬祭費も改正

健康保険法等の一部改正により、国民健康保険の被保険者に対して支給する『出産育児一時金』と『葬祭費』の支給額が改正されました。

出産育児一時金については、子育て支援の一環として行われるものであり、また出産にかかる費用が普通分娩で30万円を超えていることから、実態に反映して10月から35万円に改正されました。

また、国民健康保険に加入している方が亡くなられた場合に支給される葬祭費についても、法の改正により社会保険等も含めて一律5万円に改正されました。

【問い合わせ先】

健康福祉課 国保医療係

☎ 45 2 2 1 4



葬祭費

これまで 6万円
↓
10月から 5万円

出産育児一時金

これまで 30万円
↓
10月から 35万円

第11回 ふるさと・いきいき村づくり全国サミット 西会津町大会開催!!

テーマは「未来へのチャレンジ! みんなで創る豊かなまち」

日程

月 日：平成18年10月22日(日)
時 間：午前9時20分～正午
会 場：西会津中学校
内 容：健康づくり事例発表
西会津町
北海道鹿追町

特別講演

「中山間地の活性化は健康な住民づくりと付加価値農業の推進」
社団法人 日本酪農乳業協会
会長 本田浩次 氏
(元農林水産省 畜産局 局長)

「最近の社会福祉の動向」
厚生労働省 社会・援護局
局長 中村秀一 氏

10月22日(日)西会津中学校において、第11回ふるさと・いきいき村づくり全国サミット「西会津町大会」が開催されます。この大会は、過疎化や少子高齢化、後継者不足など同じ課題を持つ自治体の手をとりあい、世紀の健康で明るい活力ある地域づくりを目指すことを目的としています。

第2回大会は平成9年に本町で開催され、農業科学研究所長中嶋常允先生の基調講演をいただき、これを契機に町では「健康な土づくり」に基づくミネラル栽培を町の農業振興の柱として位置付け、その推進に取り組

んできました。第11回大会は「未来へのチャレンジ! みんなで創る豊かなまち」をテーマに、事例発表や基調講演を通して地域住民が一体となり、いきいきとしたまちづくりを考える場にしていこうとするものです。

今回の大会にも、北海道鹿追町、兵庫県稲美町など、全国各地の市町村が参加する予定です。この大会を機会に、もう一度健康で明るい地域づくりについて、皆さんも一緒に考えてみましょう。多くの町民の皆さんの参加をお待ちしています。

みんなが元気に長生きを

各地区で長寿を祝う敬老会を開催



群岡・新郷地区敬老会

平成18年度の敬老会は、野沢・尾野本地区が9月9日、群岡・新郷地区が10日にさゆり公園体育館で、奥川地区は奥川小学校体育館で17日に開催されました。

各地区とも盛大に敬老会が開催され、長年にわたり町や社会の発展に貢献された高齢者の皆さんを敬うとともに、長寿をお祝いました。



米寿の記念品を受け取る佐藤傳さん（熊沢）
（群岡・新郷地区敬老会から）

【女性】	長寿者番付	【男性】
杉木 イセ（102）さゆりの園	9月15日現在 敬称略	長谷沼和吉（97）小清水
相馬 サチ（101）9町内1		三橋 長一（97）縄 沢
齋藤 ヒサ（100）堀 越		小野木喜四郎（97）真ヶ沢
小林チヨシ（99）山 浦		山口 董作（96）新 町
長谷川マス（99）中 野		新澤 常次（95）戸 中
沼澤ハル井（99）5町内		齋藤 愨（95）上小島
鈴木ハツイ（99）4町内		小林 平八（95）さゆりの園
齋藤 佐代（99）4町内		渡部 五郎（94）1町内
松崎 トシ（98）さゆりの園		橋谷田義雄（94）2町内
佐藤タケノ（98）高 目		玉木 四郎（94）向 原
山本 節（97）3町内		石井 元甲（94）中 町
小林 トシ（97）山 浦		山形 一士（93）徳 沢
小原 イシ（97）宝 川		貝沼 榮吉（93）小清水
佐藤 キン（97）極 入		薄 新六（92）呼 賀
武藤 美志（97）さゆりの園		齋藤 庄吉（92）森 野
三留 モト（97）6町内		佐藤 善作（92）新 町
長谷川キシノ（97）下野尻		加藤 正次（92）董 本
鈴木 ヒデ（97）山 口		安部 寅次（92）上野尻
三瓶 ヨノ（96）山 浦		目黒 周五（92）牛 尾
海老名ハルヨ（96）3町内		橋谷田善紀（92）さゆりの園
五十嵐キワ（96）宮 野	加藤 豊造（92）6町内	
伊藤タケノ（95）塩	二瓶 喜八（91）西 原	
甲斐 トヨ（95）4町内	広瀬 勝（91）上野尻	
鈴木マサノ（95）小清水		

今年の敬老会には、昨年より6人多い2,755人（野沢地区820人・尾野本地区608人・群岡地区527人・新郷地区294人・奥川地区616人）の高齢者が招待され、いずれの会場でも大勢の高齢者の方々が出席し、元気な顔を合わせ、話に花を咲かせていました。

式典では、山口町長の長寿を讃えるあいさつに引きつづき、白寿や米寿、喜寿を迎えられた方々に記念品が贈られました。また、金婚を迎えられた夫妻

には、福島民報社と県老人クラブ連合会から記念品が贈られました。

その後、招待者の代表から謝辞が述べられ、みんなで長寿を誓い合い、式典は終了しました。

式典の後には、恒例の余興が行われ、各地区の団体が歌や踊りを、保育所の子どもたちが、かわいらしい遊戯を披露するたびに、会場は笑顔とあたたかい拍手につつまれ、出席者は楽しいひとときを過ごしました。

9月議会定例会報告

28議案すべてを原案のとおり可決・承認

9月8日から15日までの8日間を会期に開催された9月議会定例会は、提案された28議案すべてを原案のとおり可決・承認し、閉会しました。今号では、11月号でお知らせする平成17年度決算報告を除く、町長からの町政主要事項報告、可決・承認された議案についてお知らせします。

町政主要事項報告から

地域再生計画の認定

7月27日に首相官邸において、地域再生計画認定書授与式が行われ、本町の『西会津町・百歳への挑戦』『健康のまち再生計画』に認定書が交付されました。

地域再生計画とは、昨年4月に施行された地域再生法に基づくもので、地域が行う地域再生のための自主的・自立的な取り組みを国が総合的かつ効果的に支援するため、地方公共団体が作成した計画を内閣総理大臣が認定するものです。

本町においては、昨年7月に認定された『西会津町すべてにやさしい健康のまち清流再生計画』、県・柳津町と共同で申請した『地域「人・物」振興計画』に続き、3件目の地域再生計画となります。

今回認定された『西会津町百歳への挑戦』『健康のまち再生計画』の内容は東北大学や東北福祉大学と連携した健康運動推進員の養成や運動教室の開催などの健康運動推進等事業、近畿大学と連携した骨粗しょう症疫学調査、関連事業として在宅健康管理システム事業、ケーブルテレビによる健康啓発、健康な土



づくりによるミネフル野菜栽培の普及拡大などを実施することにより、高齢者がいきいきと暮らせる活力ある健康の町への再生を図るものです。

今後もしも引き続き、介護予防・予防医療のための事業を積極的に推進し、町民の「健康寿命延伸」に努めていきます。

テレワークセンターの運営

これまで整備してきたケーブルテレビやインターネットなどのICT（情報通信技術）を活用し、中山間・過疎地域であっても都市部と変わらず、就業・雇用の確保ができるなど、若者のUターンを促進するとともに、地域の活性化や新たな産業の創出を図るため、町テレワークセ

ンターを整備しました。

このたびは入居者の募集を行い、審査の結果、1件の入居者を決定しました。

現在、テレワークセンターでは、専門の支援アドバイザーを配置し、定期的に起業相談や経営相談を行い、起業家の育成や新規入居者を開拓していくことにしています。

また、多目的スペースにおいては、町民のICT能力の向上のため、毎週1回程度パソコンやインターネットなどの相談会、講習会を開催していますが、毎回10名前後の方が出席しています。



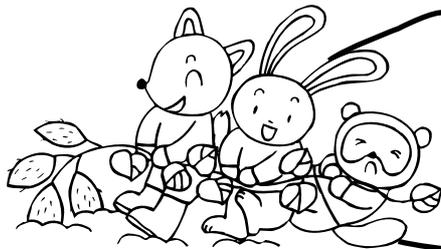
テレワークセンターでのパソコン相談会

今後、ICTのまちづくりに向けテレワークセンターの有効活用を図っていきます。

可決・承認された議案

町国民保護協議会条例
町国民保護対策本部及び町緊急対処事態対策本部条例
町税条例の一部改正
町手数料徴収条例の一部改正
町ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正
平成17年度町歳入歳出決算の認定（一般会計・工業団地造成事業特別会計ほか11特別会計）

平成18年度町補正予算（一般会計・下水道施設事業特別会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・水道事業会計）
町CATVデジタル設備設置工事請負契約の締結
財産の取得（在宅健康管理システム家庭用端末機100台）
教育委員会委員の任命の同意（長谷川隆夫さん・安座）
町特別功労表彰者の決定の同意（玉木達雄さん・梨平）



すこやかな生活を応援します

いきいきライフ

みんなで食育 たのしく食育

～いただきます みんなで食べたら おいしいね～

大人がまず

「食」に関心を持つことから

食をめぐる現状に対処し、食育を国民運動として推進するため、食育基本法が成立しました。

食育とは？

- 生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの
- 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること

学校給食で

「食」を学んでみませんか？

学校給食では、町内でとれたミネラル米や、新鮮なミネラル野菜を活用し、栄養バランスのとれた献立を提供しています。学校給食は、食の安全を図るとともに、児童生徒が「食」に対し関心を持つように取り組んでいます。

また、町給食センターでは、町民の皆さんにも学校給食を知ってもらうために、西会津中学校で試食会を随時行っています。どなたでも試食をすることができます。希望日の1週間前までに給食センターへ申込みください。

【申込み先】
給食センター

☎ 48 1 1 5 4



毎月19日は「食育」の日です

家族そろって楽しく食卓を囲んでみてはいかがでしょうか。

●早寝・早起き・朝ごはんを実践しましょう。

規則正しい食事は、生活の規則も整えます。朝ごはんには、眠っていた身体と脳を起こす大切な役割があります。



●食べ物がどこからきたか知っていますか？食の大切さや楽しみを実感しましょう。

野菜、肉、魚といった食材は、豊かな自然が育んだ「生命」。食べ物への感謝の心を持ちましょう。食べ物の安全や栄養について関心を持ち、学んでみましょう。

●食文化を受けついでいきましょう。

地域や家での昔ながらの料理を作ってみましょう。

主食・主菜・副菜のそろった日本型食生活は、栄養のバランスに優れています。



地域で伝承したい郷土料理 ～ぼうたら煮～

材料 10人分

ぼうたら1匹分(10切れ)、しょうゆ2カップ、ざら砂糖2カップ、酒1カップ

作り方

- ①ぼうたらにたっぷり水を入れ、2日くらいひたしておく。
- ②ぼうたらをよく洗い、ひたひたの湯で、弱火でゆっくりと煮る。
- ③やわらかくなったら、調味料を加え弱火で煮る。
- ④煮汁が半分くらいまでに煮ついたら火を止めて冷まし、また煮つめる。これを2～3回繰り返す。

まちの 話題



交通死亡者ゼロの町に向けて

平成17年4月に上野尻地内の国道49号で、大型タンクローリーと小型トラックが正面衝突した死亡事故を最後に、交通事故死者ゼロ500日を達成した、町防犯及び交通安全対策協議会を表彰する会津地方交通対策協議会長表彰式が、8月28日に町役場で行われました。

表彰式では、会津地方振興局の小松憲弘県民環境部長から、町防犯及び交通安全対策協議会会長の山口町長に表彰状が贈られた後、交通安全協会の五十嵐忠比古西会津支部長が、交通安全町民の誓いの宣誓を行い、交通死亡者ゼロの町に向けて、一丸となって取り組む決意を新たにしました。



さゆり公園を美しく

8月26日、さゆり公園美化活動事業「一斉作業の日」が行われました。

昨年からは開始されたこの事業は、日頃さゆり公園を利用している各種団体の代表者の方々が企画し、ボランティア活動サポートセンターがとりまとめをし、行われています。

今年は、およそ250人の方々が参加し、日頃利用している公園施設に感謝しながら、作業を行っています。



芸術家と一緒に森の大切さを学ぶ

9月14日、新郷小学校全校生15名が西会津国際芸術村で芸術家との交流会にあわせ、森林環境学習を行いました。

まず初めに、町森林組合の元職員の田崎衛さんから、森林が持つ自然環境における役割や森林を保全する大切さについて学びました。

その後、1・2年生と3・6年生の2グループに分かれ、1・2年生はスタンプアートを、3・6年生は森林環境税の交付金を利用しての木工作業を芸術家の芸術家と一緒に、交流を深め合うとともに、木の温もりを感じながら木の大切さを学んでいました。

残暑に負けず、がんばりました

9月10日に尾野本小学校グラウンドで尾野本保育所とすわ保育所の合同運動会が開催されました。

子どもたちは、秋晴れの空の下、大好きなお父さんやお母さんと一緒に、残暑に負けず、最後まで一生懸命戦い抜きました。

また、会場を訪れた家族の声援に、手を振りながら走る子どももいて、会場は笑いの渦に包まれました。



スポーツのがおり 文化のがおり

生涯学習

学びのがおり

地域の未来について語りました
「夢ささびフォーラム」開催

町の青年団体、町公民館各地区部長部員など地域活動、社会教育活動を行っている方を一堂に会して、まちづくり、人づくりや、よりよい社会教育を目指すにはどうしたらよいかなどを語り合う公民館主催の「夢（む）ささびフォーラム」を9月1日（金）、町公民館において開催しました。

奥川健康マラソン実行委員会、尾野本青年会、機微団舎、高揚塾、J A会津いで西会津支部青年部、町公民館各地区部長部員など17名が参加しました。

初めに、元坂下小学校長の加藤絏一さ

んより、今だから、地域における公民館のやくわり」という演題で講義をいただきました。

地域の民俗文化を守るには公民館が先頭になって活動しなければならぬ。行事などで子どもを町外に連れていけば、その子は将来、町に留まらないだろうなど、地域を大事にするにはどうしたらよいかなどの話がありました。



地域を大事にするにはどうしたらよいか（加藤絏一さん）

続いて、3団体の代表の方から、活動事例の発表がありました。

奥川健康マラソン実行委員会の井上國男委員長は、「奥川健康マラソンがうまくいったのは、多くの仲間が後押ししてくれたおかげである。今後は奥川の人が競技に参加できる大会にしたい。」

高揚塾の三瓶純一塾長は、「現在は、千本校構想で、奥川に桜を千本植える事業を行っている。ずっと塾生でいたい。」

J A会津いで西会津支部青年部の江川誠作部長は、「野立て看板づくりや子どもを田んぼに入れて鯉のつかみどりを行っている。後継者がいないため、青年部から抜けられないが、交流が深められるので、脱会しなくてもよいのではないかとそれぞれ述べられました。」



有意義な事例を発表しました（井上國男さん）

続いて、3つの囲炉裏を囲み、車座になりながら、班編成を組み、地域活動について何ができるか。今の公民館のありかたについて、どう思うか。今後の公民館に期待することの3つのテーマで意見交換を行いました。

意見交換を終えてから、班ごとに発表しました。

「今は、若者が地域に入っていない」「青年会が高齢化している」「昔は公民館によく行っていたが、今は遠い存在になっちゃった」「公民館の活動で若者が集

まれるものがない」などの問題提起を受け、それを元に「公民館職員は地域に入って、問題を探る」現在、青年会など若者が活動できる団体が減少している。公民館活動には若者が必要なため、引き込むには公民館活動を行っている年配者が、若い人を連れて世代交流を行えば、入りやすくなるのではないかと「若い女性の公民館事業の参加」「スポーツ等で活躍している団体への援助」「各団体の横の連携が必要」など建設的な意見がでました。

これらの発表を元に講師の加藤先生から「地域活動は、公民館がリーダーシップを取るべきである」「団体のトップの連携が大事」「行っている事業をクローズアップする」などの助言をいただきました。

意見発表後、参加者はさらに熱心に夜遅くまで語り合いました。



思いを熱く語り合いました

各地区で体育祭を開催

健康増進と親睦を深めました

9月3日(日)に各地区で、町民体育祭を開催しました。

体育祭は、健全なレクリエーションの推進と心身の健康を増進し、あわせて住民の親睦と融和を図ることを目的に行っています。

それぞれの地区で、アイデアを生かした特徴ある種目もあり、暑い一日でしたが、楽しく熱い戦いを繰り広げていました。

第45回野沢町内親善大運動会



桐ゲタムカデ競争～5名1組で3組のリレーで速さで順位を決めます

【結果】優勝：牧チーム(3連覇)

2位：堀越・芹沼チーム

3位：10町内

第32回尾野本地区町民大運動会



はいらんしょ～15名が縄跳びをし、跳んだ数が得点になります

【結果】優勝：萱本チーム(25年ぶり)

2位：松尾チーム

3位：尾登チーム

第39回群岡地区体育祭



大声大会～各チーム代表2名の合わせた声の大きさを順位を決めます

【結果】優勝：上野尻Bチーム(2連覇)

2位：上野尻Cチーム

3位：下野尻・端村チーム

第42回新郷地区町民体育祭



ビール飲みリレー～5名で1人250mlのビールをストローで飲む速さで順位を決めます

【結果】優勝：笹川Aチーム

2位：富士Aチーム

3位：豊洲Aチーム

第38回奥川地区町民体育祭



一升懸命がんばんべえ～12名が灰皿で水を運び1升瓶に溜めた量で順位を決めます

【結果】優勝：新町チーム

2位：道目チーム・松峯チーム

第39回町長旗争奪野球大会

8月27日(日)野球の競技力向上と親睦和を図るため、各地区の名譽をかけた町長旗争奪野球大会を開催しました。1回戦から白熱した試合が繰り広げられ、本大会を制したのは尾野本チームで、10年ぶりの優勝となりました。



打球の行方は...

【結果】優勝：尾野本チーム

2位：群岡チーム

3位：野沢チーム・奥川チーム

「お知らせ」

町公民館では、8月30日(水)から、アリソンとタニエルを講師に英会話教室を開講しました。毎週水曜日午後7時から来月7月までの教室となります。英語を学びたい方は町公民館まで申込みください。(常時受付)

☎ 45 3 2 4 4



荒海

享俊さん

〔真ケ沢〕

矢部喜代栄さん（9月号から）
メッセージ
いろいろ、地域での活動を楽し
くやりましょう。

あなたの趣味は？
バレーボール（週に一度、
友人と楽しんでいます）

あなたの特技は？
刺身の盛り合わせ（一応、
職人です）

熱中していることは？
書道

あなたのモットーは？
昨日の自分に負けないこ
と。日々成長し続けること

自分を一言で表現するとしたら？
器用貧乏

これからやってみたいことは？
全国各地の有名な焼きもの
の里を散策してみたい

最近感動したことは？
ヤンキース松井選手の復帰
戦でのファンの期待に応えた
4打数4安打

次の方を紹介してください。
K・Nさん（橋屋）

あなたの宝物は？

『奥川小5年生のとき、県音楽祭合奏
の部で銀賞受賞したときの写真』
「良き指導者に恵まれ、一年中、合
奏に明け暮れる全力少年でした。
赤いバラを口にくわえ踊るカル
メンに心を奪われていました。」



みんなの広場

文

上野尻俳句会

さゆり原そば一面の花ざかり

会田寿美子（森野）

庭先に鉄の音や秋あかね

小林佳子（上野尻）

日ぼつの足早路の秋ざくら

高橋栄子（上野尻）

芸

太根詩く命となりし今朝の雨

広瀬ひでお（白坂）

木犀や納骨の門句ひ立つ

長澤幸（芝草）

◆お詫びと訂正◆

先月号の俳句の中で、五十嵐照子さんの俳句に誤りがありました。正しくは、「ほほづきの赤き提灯ふくらみし」でした。訂正し、お詫びします。



誰かに読んでもらいたいこの一冊

このコーナーは、西会津中学校図書館会員のの方に、お気に入りの図書館蔵書を一冊紹介していただくコーナーです。今月は、西会津中学校1年生の江川千晶さん（屋敷）にお薦めの一冊を紹介いただきました。

『ブレイブ・ストーリー』（宮部みゆき作・角川書店）この本は、物語好きの人に読んでもらいたい一冊です。それと映画化されて、既に映画を見た人にも、ぜひ一度原作を読んでもらいたいと思います。」

「小学生の男の子が、自分の運命を変えるために、自分の住む世界とは違う世界に行って、宝玉を集める冒険をするという話です。」

「この本は、とにかく本全体がおもしろく、どこが良かったと具体的なことはあげられませんが、本当におもしろいので、上・下巻あわせて結構な厚さですけど、一度読み始めると続きが気になって、時間を忘れて読み進んでしまいます。」

最後に

「この本を読み終わると嫌なことがあっても、それを乗り越えることができれば、必ずいいことがあるということを実感できます。映画もいいかもしれませんが、皆さんぜひ一度、原作であるこの本を読んでください。」



みんな集まれ!

西会津ふるさとまつり

「第21回西会津の文化と産業祭」

今年の「ふるさとまつり」は、さゆり公園を会場に11月4日、5日の2日間で開催します。

楽しいイベント盛りだくさんですので、多くの皆様のご来場お待ちしております。また、各イベントの参加者も募集していますので、詳しくはチラシをご覧ください。お申込みください。



主なイベント

- 11月4日(土)
- ・オープニングセレモニー
 - ・ファミリーサッカースクール
 - ・民俗芸能と民謡の集い
 - ・大道芸人ショー ・キャラクターショー
- 11月5日(日)
- ・桐ゲタ健康マラソン大会
 - ・桐ゲタ投げ全国大会
 - ・牛牛フェア ・ミュージックフェスタ
 - ・町長杯争奪親善ゲートボール大会

体育館内の展示は、11月1日(水)からプレオープンします。

【申込み・問い合わせ先】

ふるさと振興推進委員会事務局(経済振興課)

☎45-2213



おしらせ

秋の行政・人権相談

10月16日(月)から22日(日)の1週間は「秋の行政相談週間」です。

町においては、行政相談員がいつも自宅等で相談に応じているほか、次のところで行政相談所を開設します。

役所や特殊法人等の仕事に関して、苦情や困っていること、要望したいことなど、お気軽にご相談ください。また、併せて特設人権相談所を開設しますので、いじめや家庭内での問題、近隣間のトラブルなど、この機会にご相談ください。相談は、無料

で秘密は堅く守られます。

日程及び会場

【10月17日(火)】

午前9時30分～正午

新郷連絡所

午後1時～午後3時30分

奥川支所

【10月18日(水)】

午前9時30分～正午

保健センター

午後1時～午後3時30分

町公民館

行政相談員

山本 義子さん(9町内2)

人権擁護員

沼澤 望東子さん(牛尾)

平野 茂穂さん(上野尻)

【問い合わせ先】

猪俣 ナヲ子さん(道目)

☎45 2211

自動車事故被害者救済制度のお知らせ

自動車事故の被害者を救済する制度として、次のような制度があります。

交通遺児等育成資金貸付
対象者

0歳から中学3年卒業までの児童のいる、交通事故により死亡した方の遺族または国土交通省令で定める後遺障害をもたらず障害を受けた家族

貸付金額

一時金 155,000円

毎月 20,000円

利子 無利子

貸付条件

市町村民税が非課税または均等割のみ課税など

重度後遺障がい者への介護料支給

対象者

自動車事故により脳や脊髄を損傷し、自賠責保険の後遺障害認定等級が次に該当する方
常時介護を必要とする方
1級1号または2号
2級1号または2号

随時介護を必要とする方

平成14年3月31日以前の事故

は1級3号または4号支給額

常時介護を必要とする方

58,570円

136,880円

随時介護を必要とする方

29,290円

54,000円

【問い合わせ先】

独立行政法人

自動車事故対策機構福島支所

☎024 522 6626

毒きのこにご注意を

例年、県内では、きのこの採取シーズン(9月から11月までの間)に「毒きのこ」による食中毒が多数発生します。

食用きのここと識別できないものは食べないように注意してください。

知らないきのこは、

採らない

食べない

人にあげない

*きのこに関する迷信がたくさんありますが、迷信で、食用を判断しないでください。



戸籍の窓口

■平成18年9月1日現在	前月比
人口 8,595人	- 7人
男 4,138人	- 6人
女 4,457人	- 1人
世帯 2,944世帯	+ 1世帯

■8月受付分 敬称略



お誕生おめでとう

高松	陸くん	格・美穂	1町内
伊藤	藍ちゃん	健治・智美	西原
渡部	櫻子ちゃん	ファニロ・多恵子	黒沢
佐藤	翔くん	浩二・絵美	高目
伊藤	竜矢くん	善行・礼子	塩

ご結婚おめでとう



鈴木 浩幸	松尾
小林 奈々	会津坂下町
佐藤 辰徳	西林
岩田 麻実	会津若松市

お悔やみ申し上げます

佐藤 善一郎 (75)	博	父	3町内
山本 ヨシノ (83)	琴士	妻	7町内
清水 キヨ (88)	典威	母	9町内1
二瓶 清次郎 (95)	文子	父	9町内1
星 幸亥 (83)	桑原恭子	母	9町内2
星 正男 (93)	正一郎	父	10町内
大槻 千枝子 (72)	忠好	姉	芝草
長澤 義夫 (80)	隆	父	芝草
江川 ヨシシ (77)	義仲	母	西原
小柴 孝次 (78)	三雄	父	董本
五 幸 (83)	五郎	父	下小島
佐藤 清志 (81)	健一	父	上小島
齋藤 弘 (76)	明	父	縄沢
渡部 ヤイノ (92)	次男	母	黒沢
江川 久雄 (79)	篤男	父	上野尻
藤原 義記 (90)	ミツエ	夫	白坂
佐藤 マン (93)	康弘	祖母	宝川
高橋 和彦 (74)	雅行	父	滑沢
高橋 みね子 (82)	清	母	柴崎
佐々木 直喜 (83)	忠直	父	中町

10月の西会津診療所土曜診療日

10月7日(第1週)受付時間11時まで
10月21日(第3週) "

西会津診療所 ☎45-4228

休日当番医(10月)

日	地区	医療機関名	電話番号
8(日)	喜多方市	小野病院	0241(22)0414
		福田耳鼻咽喉科医院	0241(24)4187
	会津若松市	なるせとみこレディースクリニック	0242(37)7851
		森田小児科医院	0242(27)7686
		仙波耳鼻咽喉科医院	0242(26)4133
会津坂下町	あかぎ内科消化器科医院	0242(83)0303	
9(月)	喜多方市	有隣病院	0241(24)5021
		藤井医院	0241(23)0023
	会津若松市	いとう内科消化器科クリニック	0242(83)3733
		扇町渡部小児科アレルギー科医院	0242(25)5515
		二瓶眼科医院	0242(22)1932
15(日)	喜多方市	佐原病院	0241(22)5321
		星医院	0241(22)0005
	会津若松市	黒河内内科神経科医院	0242(26)7815
		さとう小児科医院	0242(24)0830
		こばり耳鼻咽喉科クリニック	0242(29)0800
会津坂下町	坂下厚生総合病院	0242(83)3511	
22(日)	喜多方市	県立喜多方病院	0241(22)2181
		三浦産婦人科医院	0241(22)0293
	会津若松市	信循環器科内科クリニック	0242(32)0202
		いづかファミリークリニック	0242(32)3330
		鏡淵外科胃腸科	0242(27)3225
29(日)	喜多方市	小野病院	0241(22)0414
		内科消化器科みつはし医院	0241(21)1311
	会津若松市	荒川胃腸科内科クリニック	0242(83)2201
		浜崎小児科医院	0242(27)0951
		入澤泌尿器科内科クリニック	0242(38)3711

休日当番歯科医(10月)

日	地区	医療機関名	電話番号
8(日)	会津坂下町	大友歯科医院	0242(84)1688
	会津若松市	小汲歯科	0242(22)0172
9(月)	喜多方市	宮澤歯科医院	0241(21)1166
	会津若松市	おんだ歯科	0242(22)6311
15(日)	会津美里町	金子歯科医院	0242(56)3988
	会津若松市	加藤歯科	0242(24)0550
22(日)	喜多方市	アイデンタルクリニック	0241(24)4545
	会津若松市	加羽沢歯科	0242(26)0418
29(日)	喜多方市	さいとう歯科クリニック	0241(38)3910
	会津若松市	かみお歯科	0242(24)9273

10月の納税等

水道料金・下水道料金
インターネット使用料
ケーブルテレビ使用料

納期限 10月10日(火)

固定資産税第3期
介護保険料第5期
土地改良区償還賦課金第2期

納期限 10月31日(火)

今月の心配ごと相談日

日時 10月6日(金)

27日(金)

午前9時~

場所 老人憩の家

電話 45-4259